

<b>授業科目名</b>	公衆衛生看護学（地域活動）(2300254)		
<b>時間割名</b>	公衆衛生看護学（地域活動）(41206)		
<b>時間割担当</b>	芝田ゆかり	三浦康代	吉水清
<b>実施期</b>	後期	<b>単位数</b>	2 必修
<b>曜日・時限</b>	木・1		

### 授業の目標・概要

公衆衛生看護の対象である「地域集団」に焦点をあて、地域診断に必要な理論と技術を学び、地域組織活動の問題解決プロセスの方法について学習する。そのためには情報収集や分析の視点、健康づくり計画の立案、実施、評価、修正の実際について理解を深め、地域活動計画および評価について科学的視点に基づいた根拠を持つ必要がある。さらに保健師の専門的技術となる保健指導についても掘り下げて学習していく。

### 学習の到達目標

1. 地域診断における理論と技術を説明できる。
2. 地域活動計画の方法と評価について説明できる。
3. 健康危機管理の理念と目的、対象と方法について説明できる。
4. 災害時サイクル各期の保健活動について説明できる。
5. 感染症の集団発生時の保健活動について説明できる。
6. 公衆衛生看護管理の目的・構造・機能、専門的自律と人材育成について説明できる。

### 授業方法・形式

講義と一部演習を含む。

### 授業計画

- 第1回 ガイダンス、保健行動の理解とアセスメントに基づく支援
- 第2回 公衆衛生基本技術の理念  
公衆衛生看護活動と地域（地区）看護診断
- 第3回 地域診断の目的：  
地域のとらえ方、地域診断の理論
- 第4回 地域診断の方法：  
展開過程、地域特性の把握、地域の情報収集方法
- 第5回 地域診断の方法：  
アセスメント
- 第6回 公衆衛生看護活動計画の作成
- 第7回 公衆衛生看護活動計画の実施・評価方法
- 第8回 地域組織・地域への支援、事業化と施策化
- 第9回 地域ケアシステム
- 第10回 健康危機管理：  
健康危機管理の基本、災害に対応した保健活動、災害予防と事前対策
- 第11回 健康危機管理：  
発災直後から応急対策期、災害復旧・復興対策
- 第12回 健康危機管理：  
感染症の集団発生への保健活動
- 第13回 公衆衛生看護管理：  
公衆衛生看護管理の目的と特徴、公衆衛生看護管理の構造と機能
- 第14回 公衆衛生看護管理：  
専門的自律と人材育成
- 第15回 まとめ

### 成績評価の基準

筆記試験（70％）、出席態度・小テスト（15％）、レポート（15％）等で総合評価する。

### 準備学習・復習及び授業時間外の課題

事前学習は講義予定に相当する教科書を読んでおく。  
事後学習は、講義で学習した内容をまとめ、教科書でも再度確認する。  
公衆衛生看護学概論等の関連科目と照らし合わせて講義を受講する。

### 履修上のアドバイス及び留意点

- ・私語を慎む、無断で遅刻・早退をしないなど、受講上の基本的なマナーを守る。
- ・資料の予備配布は行わないため、欠席した学生は、次回講義までに出席した学生などから資料をコピーさせてもらう。

### 教材・教科書

標準保健師講座 1 公衆衛生看護学概論：医学書院  
標準保健師講座 3 対象別公衆衛生看護活動：医学書院  
標準保健師講座 2 公衆衛生看護技術：医学書院  
国民衛生の動向 2017 / 2018 厚生統計協会

## 参考書

「地域看護診断 技法と実際」金川克子編、東京大学出版会、  
その他適宜、講義時に紹介予定